

入院のご案内

Hospitalization Information



入院準備

入院中

退院

お知らせ

各種書類

富士市立中央病院

富士市立中央病院の理念

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

基本方針

- 1 高度・専門医療の提供
- 2 二次救急医療体制の充実
- 3 地域医療連携の推進
- 4 災害医療体制の整備
- 5 次世代の医療を担う人材育成

職員宣言

- 1 私たちは、患者さんの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さんの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さんの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、市立病院としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

入院のご案内 目次

CONTENTS

入院準備

入院の手続き・ご準備について

入院生活に必要なもの 3

お手続きに必要な書類 5

入院中

入院中のお願い 7

入院中のお食事 9

面会について 9

駐車場の利用について 10

火災・地震等、災害が発生した時は 10

退院

入院医療費について 11

個室・2人室の利用について 11

限度額適用認定証のご案内 12

医療費お支払いについて 13

各種証明書の依頼 13

お知らせ

各種相談について 14

病院からのお願い 16

患者さんの権利及び義務に関する宣言 21

こどもの権利 22

性的マイノリティの患者さんへの対応方針 22

各種書類

入院申込書（提出用様式）

氏名表示について／個室の希望について（提出用様式）

患者さん・ご家族用チェックリスト（提出用様式）

皆さまの声を聞かせください

入院準備

入院中

退院

お知らせ

各種書類

入院の手続き・ご準備について

入院生活に必要なもの

<input type="checkbox"/>	下着・寝まき（パジャマ）	
<input type="checkbox"/>	タオル・バスタオル	
<input type="checkbox"/>	踵のある靴（室内用） ※ 転倒防止のため、スリッパ等をご遠慮ください。	
<input type="checkbox"/>	ティッシュペーパー	
<input type="checkbox"/>	マスク	
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（ごみ袋・洗濯物用等）	
<input type="checkbox"/>	イヤホン（テレビ使用の場合）	
<input type="checkbox"/>	洗面・洗髪用具 （歯ブラシ、プラスチックコップ、ボディソープ、シャンプー、髭そりなど）	
<input type="checkbox"/>	服用中のお薬・お薬の説明書	
<input type="checkbox"/>	お薬手帳	

※ 入院中に使用する物については、お名前のご記入をお願いします。

必要に応じてご用意いただくもの

<input type="checkbox"/>	オムツ・おしりふき	(種類や量は入院後、病棟看護師にご相談ください)
<input type="checkbox"/>	保湿剤・保湿ローション	
<input type="checkbox"/>	時計、めがね、補聴器等	
<input type="checkbox"/>	水・お茶など（ストロー付キャップは必要な方のみご準備ください）	
<input type="checkbox"/>	義歯入れ容器と洗浄剤・口腔ケアジェル等	

※ 上記のほか入院病棟や疾患等により、ご用意していただくものがある場合があります。

入院の手続き・ご準備について

入院準備

入院中

退院

お知らせ

各種書類

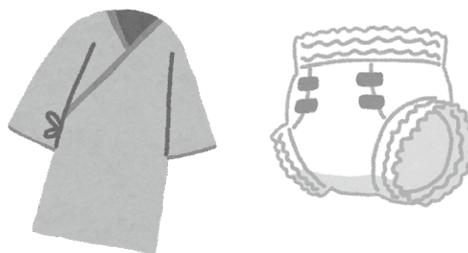
現在服用中のお薬について

- 入院中は、症状・治療内容によって服用方法などが異なる場合があります。必ず医師または看護師にお知らせください。
- お薬手帳をお持ちの方は、現在、服用中のお薬を持参のうえご提示ください。



入院セットのご利用について

- 当院では、専門業者が入院中に必要とされる衣類・タオル類・紙おむつ類を日額でご利用できる入院セット（CSセット）をご用意しております。衣類・タオル類は洗濯付きのレンタルです。サービス品として日用品もご提供しております。詳しくは1階ホール「CSセット受付ブース」にてお尋ねください。
- 入院セット（CSセット）をご利用の方は、サービス内容をご確認のうえ、入院生活に必要なものをご準備ください。
- 入院中、入院セット（CSセット）のご利用中止や変更をしたい場合は、CSセット受付ブースまたは病棟看護師にお伝えください。



入院の手続き・ご準備について

お手続きに必要な書類

<input type="checkbox"/>	診察券
<input type="checkbox"/>	保険の確認ができるもの (マイナ保険証、資格確認書のいずれか)
<input type="checkbox"/>	医療受給者証 (こども医療・母子医療・重度障害者医療等をお持ちの方)
<input type="checkbox"/>	入院申込書
<input type="checkbox"/>	氏名表示について
<input type="checkbox"/>	患者さん・ご家族用チェックリスト
<input type="checkbox"/>	限度額適用認定証 (オンライン資格確認システムを利用されない方)
<input type="checkbox"/>	労災・公費等の関係書類
<input type="checkbox"/>	介護保険被保険者証、介護保険負担割合証 (要介護・要支援認定を受けている方)



入院の手続き・ご準備について

入院準備

お手続きに必要な書類の注意点

- 緊急入院のため提出書類が間に合わないときは、入院後2～3日以内に病棟スタッフにご提出ください。
- 交通事故及び労災で受診される方、加入している健康保険に変更がある場合は、1階の医事課にお申し出ください。
- ドナーカード、臓器提供の意思表示証などをお持ちの方は主治医にお申し出ください。



入院中

退院

院

ご自宅への退院をスムーズに進めるために

介護を必要とする患者さんが安心して自宅に戻るため、入院時から病院とケアマネジャー、地域包括支援センターが連絡を取り合い、退院にむけ、話し合いや介護保険サービスの調整などを行います。

お知らせ

1. 担当ケアマネジャーがいる方は、ケアマネジャーへ入院のご連絡をお願いします。

- 担当ケアマネジャーが入院直後から病院と連絡をとり合うことで、その後の調整や支援が、よりスムーズになります。



各種書類

2. 下記の書類を、お手続きに必要な書類に追加してお持ち下さい。

- かかりつけ医療機関の診察券
- 担当ケアマネジャーの名刺

入院中のお願い

入院中は他の医療機関へかかることはできません。

- 入院中は当院において治療を一括管理させていただいております。そのため他医療機関（かかりつけ医等）での診察、お薬の処方は原則できません。ご家族の方も、本人の代わりにお薬を受け取らないようお願いいたします。
- 他院、他診療所への受診予約のある方は変更をお願いいたします。



ベッドの移動にご協力をお願いすることがあります。

- 治療上の都合や、緊急入院が必要な患者さんのために、急な転室・転棟をお願いする場合があります。また、窓側などベッドの位置を選択することはご遠慮ください。

多額の現金・貴重品等はお持ちにならないでください。

- 盗難防止のため、必要以外の現金は持たないようにしてください。
- 貴重品の保管は、備え付けのセーフティボックスをご利用ください。

電話による症状の問い合わせは、ご遠慮ください。

- 患者さんの個人情報を守るため、また電話口での関係者確認が困難なため、お答えすることができませんのでご了承ください。

病院敷地内は禁煙となっています。

- 当院では敷地内全面禁煙としております。（電子タバコを含む）



病院内での飲酒は禁止しております。

- 入院中の飲酒は禁止しておりますので、アルコール飲料は持ち込まないでください。



入院中のお願い

外出・外泊は、医師または看護師にご相談ください。

- 院外への外出や外泊は、医師の許可と手続きが必要です。

病院内での撮影はご遠慮ください。

- カメラ・ビデオカメラ・スマートフォン等での撮影・録音は原則禁止しております。写真等のSNSへの投稿はご遠慮ください。



携帯電話は、デイルーム等でご使用ください。

- 医療機器への影響を考慮して、院内での携帯電話使用を制限しています。
- 病室内での通話は原則禁止です。
- 携帯電話は、マナーモードに切り替え、他の患者さんの迷惑にならないようご協力をお願いします。
- 院内では使用禁止区域もあります。下記の掲示物を参照しご利用ください。



入院治療に際しては医師・看護師の指示をお守りください。

- 医師・看護師の指示をお守りいただけない場合や、無断外泊、暴力、暴言、性的嫌がらせなど、他の患者さんやスタッフへの迷惑となる行為が発生した場合は、警察に通報し、退院していただくことがあります。

入院中のお食事

食事は病院でご用意いたします。

- 症状によっては特別な食事を用意しますので、病院食以外の飲食物を持ち込む場合は、その都度医師または看護師にご相談ください。
- 食事の配膳時間はおおむね次のとおりです。



朝食

7時～8時



昼食

11時～12時



夕食

18時～19時

- ※ 療養上の都合により食事時間の変更や、食事を持参していただくことがあります。
- ※ 食事代については、診療にかかる費用とは別に、自己負担があります。



食事のメニューが選択できます。

- 治療に差し障りがない範囲で、できるだけ患者さんに満足していただけるよう、一部の献立では食事の選択ができます。所定の用紙から希望のメニューを選んでください。

面会について

面会は、13時～20時までの間をお願いします。

- 電話による病室のお問い合わせにはお答えしておりませんので、ご了承ください。
- 小児病棟、産婦人科病棟、集中治療室の面会につきましては、一般病棟と異なりますので、入院後改めてご説明いたします。



患者さんの療養のため面会時間をお守りください。

- 入院中の面会は、疲労回復や治療の妨げになることがありますので、多人数は避け、短時間での面会にご協力ください。
- 感染症の流行等で、面会制限になる場合がありますので、ご了承ください。

駐車場の利用について

- 入院の際に車での来院はご遠慮ください。
- 緊急入院などの理由で、駐車場をご利用の方は、病棟スタッフへお申し出ください。
- 入院・退院・手術・分娩などのご家族の駐車場利用は、1台に限り無料となります。平日時間内（8時30分～17時）は入院支援室にお申し出ください。その他の時間帯は、病棟スタッフにお申し出ください。
- **ご面会、お見舞いの方の駐車場利用は有料**ですのでご了承ください。
- 第2駐車場は20時以降入庫できませんので、ご注意ください。出庫のみできます。



火災・地震等、災害が発生した時は

火災・地震等、災害発生時

非常ベルが鳴りましたら災害発生です。
院内放送に従い、病院スタッフの指示に従ってください。

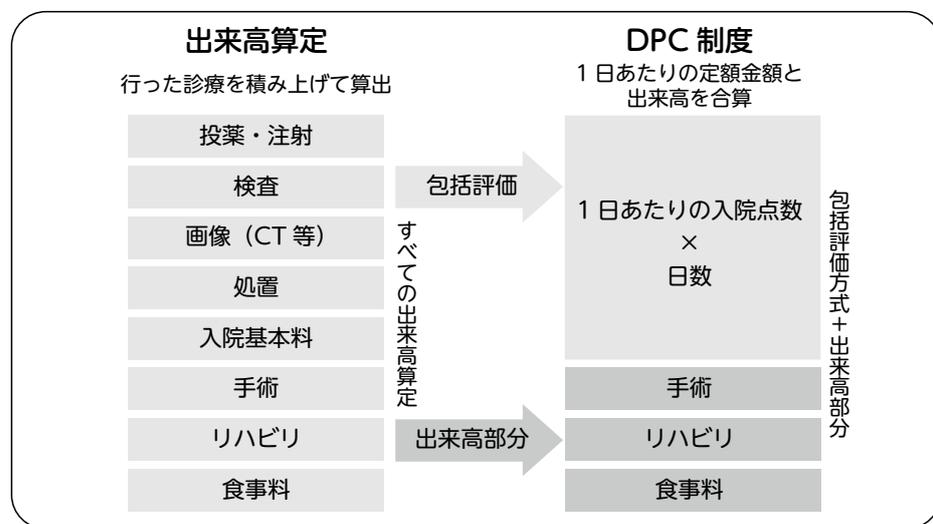
避難の際には次のことに注意してください

病院スタッフの誘導に従い、落ち着いて行動してください。
エレベーターは、停電などにより途中で停止してしまう恐れがありますので、
利用しないでください。

入院医療費について

当院では医療費を「包括評価方式（DPC/PDPS）」で計算します。

- DPC/PDPS 制度とは、入院されることになった病気（病状）と手術、処置、検査などの組み合わせにより、患者さんの入院治療内容を分類し、厚生労働省が定めた分類で計算する方式です。
- 従来の医療費の計算方式である「出来高払い方式」では、診療で行った検査や注射などの量に応じて医療費が計算されていましたが、DPC 制度の計算方式では、病名や手術、処置などの内容に応じた 1 日あたりの定額医療費を基本とします。



- 疾患や治療によっては、上記 DPC 制度の適用とならない場合があります。
- その他個室等の室料や、紙おむつ代等につきましては当院所定の料金を適用させていただきます。

個室・2人室の利用について

個室・2人室を利用される場合は、所定の料金をいただきます。

- 個室・2人室の利用を希望される患者さんは、『個室の希望について』の書類をご記入のうえお申し込みください。使用料（税込）は 1 日につきの料金となりますが、空室が無い場合にはご利用になれませんので、ご了承ください。

特別室 (トイレ、シャワーユニット付)	17,600円
個室 (トイレ付)	7,150円
個室 (トイレ無)	6,600円
2人部屋	3,300円

限度額適用認定証のご案内

入院準備

入院中

退院

お知らせ

各種書類

70歳未満の方は、限度額適用認定証をご準備ください。

- 限度額適用認定申請により一部負担金の上限が以下の金額となりますので、ご提示ください。
- 限度額適用認定証は、オンライン資格確認システムを利用し、当院にて取得することも可能です。

お問い合わせ先

◎国民健康保険の方

お住まいの市町村の市役所・役場
(富士市の場合：国保年金課 0545-55-2751)

◎社会保険の方

お勤め先または全国健康保険協会（静岡支部：054-275-2770）

◎組合・共済保険など、その他の方

お勤め先の人事担当、厚生担当等、職場の健康保険担当者

※ 申請手続きから認定証が届くまで1週間ほどかかります。

※ 手続きの詳細については各申請窓口にご確認ください。

● 70歳未満の方

標準報酬月額	区分	自己負担限度額(月額)	多数該当
83万円以上	ア	252,600円+(医療費-842,000円)×1%	140,100円
53万円~79万円	イ	167,400円+(医療費-558,000円)×1%	93,000円
28万円~50万円	ウ	80,100円+(医療費-267,000円)×1%	44,400円
26万円以下	エ	57,600円	44,400円
住民税非課税	オ	35,400円	24,600円

● 70歳以上の方（一般ならびに現役並Ⅲの方は、手続きを行う必要はありません。）

標準報酬月額	区分	自己負担限度額(月額)	多数該当
690万円以上	現役並Ⅲ	252,600円+(医療費-842,000円)×1%	140,100円
380万円以上	現役並Ⅱ	167,400円+(医療費-558,000円)×1%	93,000円
145万円以上	現役並Ⅰ	80,100円+(医療費-267,000円)×1%	44,400円
145万円未満	一般	57,600円	44,400円
住民税非課税	Ⅱ	低Ⅱ	24,600円
	Ⅰ 年金収入 80万円以下等	低Ⅰ	15,000円

医療費のお支払いについて

入院医療費の請求書は、原則として退院日に作成し、ご案内します。

入院中の方は、毎月月末までの入院費用を、翌月の10日前後にお知らせします。

- 請求は退院日（退院前）に間に合うようにいたしますが、診療内容により後日の請求となることや、退院後に追加請求させていただくことがあります。
- 1階の「自動精算機」でお支払いをお願いします。
- 自動精算機は現金とICチップのついたクレジットカードがご利用いただけます。ICチップが無いクレジットカードをご利用の方は、医事課までお申し出ください。



- 取扱時間

自動精算機	
月曜日～金曜日 (祝日除く)	8時30分～17時30分

※自動精算機をご利用できない場合は、医事課窓口にお申し出ください。

- 領収書は、高額療養費の給付・所得税の医療費控除などに必要となりますので、大切に保管してください。なお領収書は再発行できません。必要な場合は受領証明書（有料）を発行しますので医事課窓口にお申し出ください。

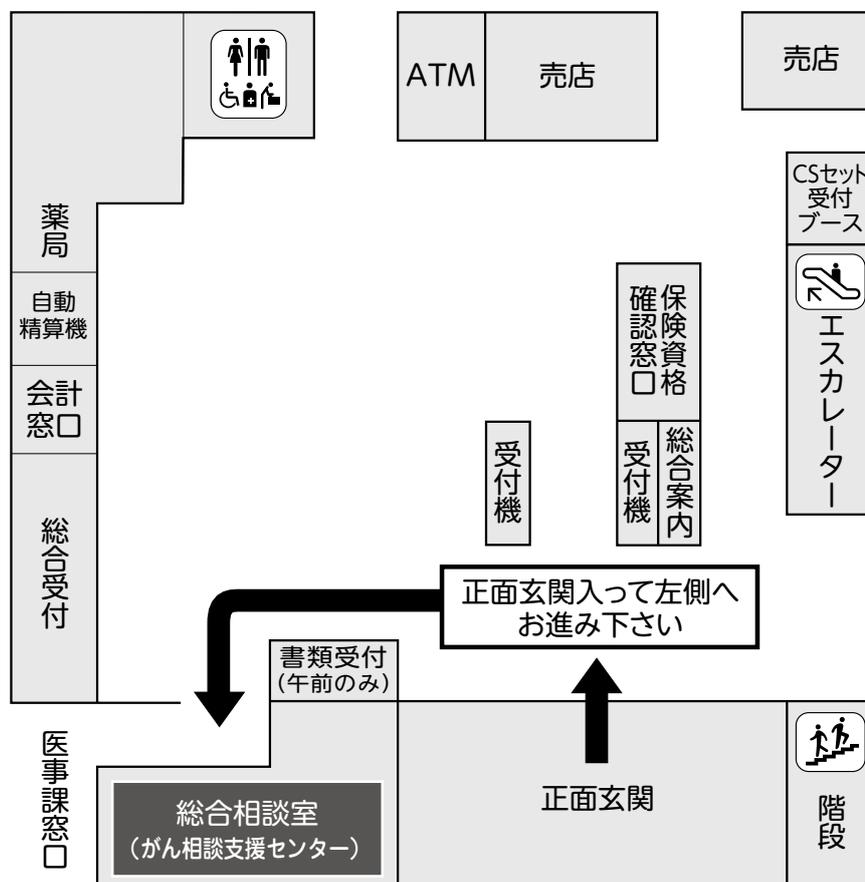
各種証明書の依頼

診断書・証明書は、1階 医事課書類受付にお申し込みください。

- 生命保険会社に提出する「入院証明書・診断書」については、退院日又は退院後にお申し込みください。

各種相談について

総合相談室（がん相談支援センター）案内図 1階ホール



入院準備

入院中

退院

お知らせ

各種書類

総合相談室

病気になると健康な時にはなかったような様々な不安や心配事が起こってきます。そんな時、専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが相談に応じ、その人らしく安心して生活を送れるよう、患者さん・ご家族と一緒に考えていきます。

《このような場合ご相談ください。》

- 病気のこと、退院後の生活に対して不安がある。
- 療養生活や医療費など経済的な事で心配がある。
- 介護保険や、身体障害者手帳など制度について知りたい。
- 治療と仕事を両立するため、健康管理や職場との調整がしたい。



各種相談について

がん相談支援センター（総合相談室内）

がんに関する疑問や不安、悩みをご相談下さい。専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが、相談者のプライバシーを守り問題解決のお手伝いをします。

《このような場合ご相談ください。》

- がんの治療、検査、抗がん剤の副作用など、がんのことについて詳しく知りたい。
- セカンドオピニオンについて知りたい。
- 療養上の不安や悩み、がん治療の医療費がどのくらいかかるか知りたい。

医療安全相談

受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しにくいことなど、専従のリスクマネージャーがご相談に応じます。

医事課

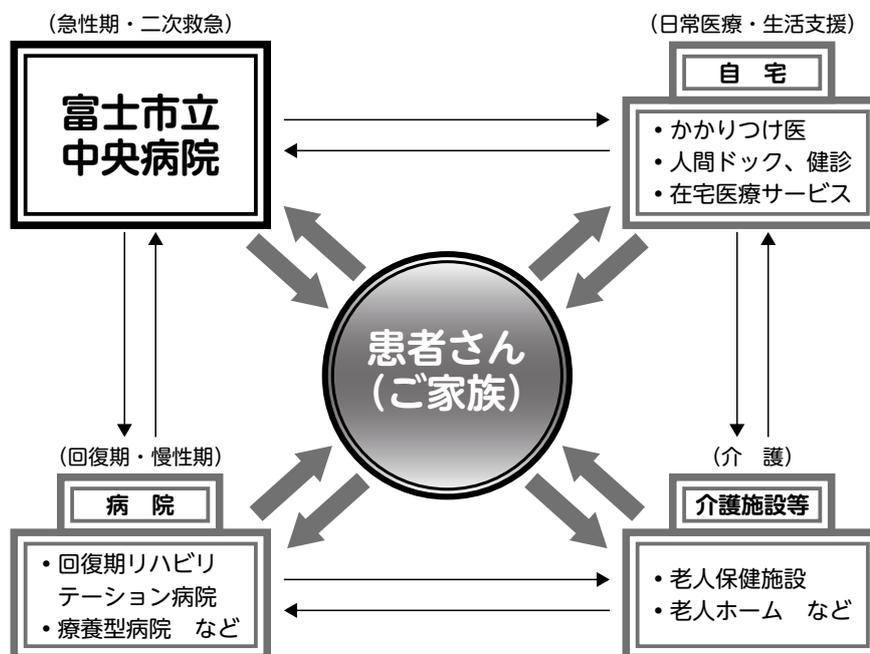
- 医療費に関するお問い合わせや支払い相談
- 交通事故や労災に関する相談
- 医療情報の開示（カルテ開示）に関する手続き



病院からのお願い

早期退院へのご理解のお願い

- 当院は高度で専門的な治療や手術を行う「高度急性期・急性期病院」であり、入院治療を必要とする救急患者を24時間365日受け入れる「二次救急医療機関」です。
- 緊急な治療や入院を必要とする患者さんの受け入れ体制を維持するため、病状が安定した患者さんには、地域の医療機関や、ご自宅での療養をお願いします。
- 早期の退院・転院を目指すことで以下の効果が期待できます。
 - ①患者さんのQOL（生活の質）を維持すること。
 - ②高度な医療を必要とする急性期患者さんの受け皿（病床）を確保すること。
 - ③救急受入体制を確保すること。
- 入院早期から退院後の療養生活を安心して送ることができるよう、患者さん、ご家族とともに調整し、必要に応じて他の医療機関・施設とも連携をとりながら退院を進めていきます。
- 退院の支援を専門に行う、看護師・医療ソーシャルワーカーがおりますので、早期退院にご協力をお願いします。



病院からのお願い

感染防止対策について

当院では、様々な病気を抱えている患者さんが多く入院しております。そのため病院内で感染症が広がりやすい状況にあります。患者さんが安心して入院生活を送るため、平常時から感染防止対策を講じております。

感染防止対策には、日頃より皆様のご協力が必要となります。

入院患者さんへ

- お部屋への入退室時は、病室入口の手指消毒剤の使用をお願いします。
- 咳や痰、くしゃみなどの症状のある方は、サージカルマスクの着用をお願いします。



面会される方へ

- 感染予防のため、マスクを着用のうえ、病室への入退室の際には、必ず病室入口に設置してある手指消毒剤で手指の消毒をお願いします。
- 院内感染防止のため、発熱されている方、咳、下痢や嘔吐がある方等、体調の悪い方の面会をご遠慮ください。
- 小さなお子さまは、病気に対して抵抗力が弱く、感染しやすいので、可能な限り面会をご遠慮ください。
- インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、感染性胃腸炎等の感染症流行期には面会を制限させていただくことがあります。

外出・外泊の場合

- 外出及び外泊される場合は、多数の人の集まる所（商業施設、娯楽施設、飲食店等）へのお出かけは避けてください。

入院患者さんが感染症にかかれた場合

- 医師の判断で、病室・病棟を変わっていただくことがあります。

病院からのお願い

医療安全対策について

安心して医療を受けるためには、患者さんやご家族と医療従事者がチームとなり協力することが必要です。また安全のための確認に、患者さんご自身も参加していただきますようお願いいたします。

患者さんの確認について

- ネームバンドを装着します。

ネームバンドには患者番号、お名前、性別など患者情報が記載されており、採血・点滴・輸血・検査・手術などの際の患者さん確認に使用いたします。装着に不都合がありましたらお申し出ください。



- お名前をお伺いします。

病院には同姓や、似たお名前の方がいらっしゃる場合があります。診療行為の中で、スタッフが患者さんに対して、何度もお名前を名乗っていただくことがありますが、安全確認のため、ご協力をお願いします。

また、同姓同名の方が同じ病棟に入院している場合は、そのことをお伝えします。

アレルギー情報について

- 薬品や食品などのアレルギーのある方は必ずお申し出ください。
- 医療物品にはゴム製品を含むものが多くあるため、ゴム手袋や輪ゴムでかぶれる方（ラテックスアレルギー）は、スタッフまでお申し出ください。

転倒転落の予防について

環境の変化や筋力・運動機能の低下により思いがけず転倒したり、ベッドから転落することがあります。院内でも転倒転落の予防に努めていますが、さらに安全を高めるために、ご家族のご協力をお願いします。

- 必要に応じてベッドの工夫や、センサー付き器具の設置等の予防対策をとらせていただくことがあります。
- 足腰が弱らないために、安静度に応じて入院中も運動しましょう。
- 歩行や立ち上がりに不安のある方は、遠慮無くお申し出ください。
- ご家族へも転倒転落の危険度をお伝えしますので、ご理解とご協力をお願いします。

病院からのお願い

診療に関する「包括同意」のご案内

診療や生活支援、教育・研究活動には、通常は安全ですが、まれに身体的・心理的な負担や合併症などのリスクが発生することがあります。

「包括同意」とは、これらの行為を行うことに伴うリスクも含めて、あらかじめ承知していただく同意のことです。

「包括同意」の対象内容は以下の3つの区分となります。

医療行為に関する同意

- 診断や治療を行うために、医師や医療スタッフが日常的に実施する医療行為（診察、体温や血圧測定、採血・採尿、点滴や薬の内服、リハビリテーション等）では、採血時の痛みや出血、リハビリテーション時の転倒などのリスクがあります。
- 治療でわからないことや、いつもと違う症状・副作用などを感じたら、すぐにお知らせください。
- 手術、麻酔、内視鏡や造影検査などの侵襲性の高い検査、リスクの高い検査・治療は、個別に詳しい説明と同意を行います。



生活支援（生活ケア）に関する同意

- 入院前の日常の状態に戻れるよう、看護師・看護補助者が行う日常生活の支援（食事、排せつ、入浴や着替え、歩行や移動等）では、歩行中の転倒やベッドからの転落、食事による誤嚥などのリスクがあります。
- 不安があるときは、歩く前にスタッフへの声かけや、転倒転落予防のため、ベッド柵やナースコールの使用にご協力ください。
- 身体的拘束（抑制）について必要な場合は、個別に詳しい説明と同意を行います。



研究・教育への協力に関する同意

- 医療の質向上のため、診療情報を教育や研究に活用させていただくことがあります。
- 教育では、臨床研修医、医学生、看護学生などが診療・ケアの現場に参加します（※すべて指導医・指導者の監督のもとで行われます）
- 研究では、個人が特定されない形での、患者さんの診療情報等を活用させていただくことがあります。



病院からのお願い

説明と同意（インフォームドコンセント）の方針を基に積極的な情報提供をします。

- ご家族の中から、主に説明を受ける方を選んでおいてください。
- 治療や検査について、わからないことはそのままにせず、些細なことでも遠慮せずに医師または看護師にお尋ねください。
- 患者さんやご家族が納得して、より良い治療方法を選択出来るよう、当院以外の医師に意見を求める制度をセカンドオピニオンと言います。セカンドオピニオンを希望される方は、スタッフまでお申し出ください。



臨床研修ならびに実習のお願い

- 当院は、臨床研修指定病院となっており、臨床研修医が指導医の監督の下、研修を実施するとともに、教育病院として医学生の診療参加型臨床実習を受け入れております。また、看護学生・薬剤師・検査技師など医療職等を目指す学生、特定行為を行う特定看護師、救命救急士を目指す消防士の実習も受け入れております。
- 患者さんの安全とプライバシーを確保しながら、研修および実習を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。



医師の働き方改革の取り組みについて

- 病状の説明等は、緊急時を除き、平日時間内をお願いします。
- 病状の安定した患者さんには、かかりつけ医での診療をお勧めしています。
- 時間外や休日は、主治医以外の医師が対応させていただくことがあります。
- 多職種によるタスク・シフト/シェアを推進し、協働して診療・ケアを提供します。

皆さまの声をお聞かせください。

- 病院で提供するサービス向上のため、各病棟のデイルームや1階玄関ホールに設置している用紙に、院内で気づいたことや、病院への要望等、こちらの用紙にご記入後院内各所にある投書箱またはスタッフに直接お渡しください。

患者さんの権利及び義務に関する宣言

富士市立中央病院は、医療における中心は患者さんであり、医療行為が患者さん・ご家族の方と医療提供者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識しております。ここに患者さんの権利に関する宣言と患者さんの義務を宣言いたします。

1. 人格尊重の権利と義務

患者さんは、常にその人格を尊重され医療を平等に受ける権利があります。

患者さんは、他の患者さんや病院職員の人格も尊重する義務があります。

2. 最善の医療を受けるための権利と義務

患者さんは、安全に配慮された最善の医療を受ける権利があります。

患者さんは良質で安全な医療を受けるため、ご自身の健康情報をできる限り正確に医療者に提供し、自己の治療に参加・協力する義務があります。

患者さんは、安全な療養環境を保つため、病院内の規則を守り病院職員の指示に従う義務があります。

3. 治療を選択する権利

患者さんは、治療や検査の効果、それに伴う危険性、他の治療方法等について、理解し納得できるまで説明を受け、治療方法を選択する権利、自ら治療を拒否する権利があります。

また、納得した治療を受けるために、主治医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

疑問があれば何度でも質問して、納得されるようお願いします。

4. 受けた治療について知る権利

患者さんは、当院で行われた診療に関する情報の提供を受ける権利があります。

治療上の心配や要望は医療担当者にご相談ください。

また、カルテ開示については病院の規定に従って申請されるようお願いします。

5. 情報が守られる権利

患者さんは、病院職員が患者さんについて知りえた個人情報を守らせる権利があります。

医療の発展のため、治療の成果等を研究や教育へ活用させていただくことがあります。

なお、使用の際は、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

こどもの権利

当院では「こどもの権利」を取り決め、お子様でも安心して診療を受けられるよう、取り組んでおります。

こどもの権利

- 思いやりのある、より良い医療を受ける権利
- できる限り、受ける医療を自分で選べる権利
- 自分の体に起きていることを、わかりやすい言葉で説明を受け、また質問をする権利
- つらい時に、泣いたり、叫んだり、嫌だと訴える権利
- 人に知られたくないことが守られる権利
- 自分にかかわる人の名前を知る権利

性的マイノリティの患者さんへの対応方針

性的マイノリティの方が安心して診療を受けられるよう配慮します。

- 常に人格を尊重し誠意をもって対応します。
- 知りえた事柄は診療や療養環境に関する対応のみに利用し、セクシャリティを含めたプライバシーの保護には十分注意します。
- 患者さんだけでなく、パートナーの方やご家族にも同様に対応します。
- 患者さんが自ら希望を伝えることができるよう対応します。
- 富士市パートナーシップ宣誓制度を理解し、診療に関する同意や情報照会に対応します。

〒417-8567 静岡県富士市高島町 50 番地

富士市立中央病院

TEL (0545) 52-1131 (代)

FAX (0545) 51-7077